**相談受付票**平成　30年　６月　６日

|  |  |
| --- | --- |
| 　　　Tちゃん生年月日　　H２6年　４月　３日　　　（　４歳　）診 断 名　　自閉症スペクトラム | 相談者氏名　　○○　K子本人との関係　母 |
| 連絡先 |
| 住所　　　○○市○○町　(連絡先　自宅)　　　　　（父・母・携帯）　 | 相談形態　□電話　　■来所　　□訪問 |
| 保育園・幼稚園・学校名　　　 |
| 手帳　・有　　　　　　 | 身体障害者手帳　　級 | 療育手帳Ａ1・Ａ２・Ｂ１・Ｂ２ | 精神障害者手帳　　　級 |
| 医療・関係機関　　　　　Mクリニック |
| **《生育歴》**運動発達面で遅れはなかったが、発語が遅く（２歳）、夜泣きもひどくとても育てにくい子どもだった。ハイハイし始めると落ち着きなくいつも動き回って、目がはなせなかった。動きを止めたり、「ダメ」と叱るとかんしゃくを起こし暴れたり、頭を叩いたり、床に頭を打ち付けるなど、自傷行為もひどかった。音に関して過敏で、ザワザワしている場所では落ち着かないので、外出もできない状況が続いていた。食事の面でも偏食が多く、白米を好んで食べていた（手づかみ）健診で発達の偏りを指摘され、３歳前に受診し診断を受け、療育機関を勧められたが、母子分離不安が高く、家で母と過ごしていた。しかし、母の妊娠と鬱状態が続いたために、無認可保育園に通う事になった。半年たった今、不安が高くなかなか慣れないが、加配の先生と一緒だと少しずつ集団に入れるようになってきた。母親も少しずつ安定している。 |
| **《家族構成》**　　　　 ７才　　　 ４才　　　　 １才　　　小学1年生　　保育園 | **《家族の状況》**・主養育者：母親（専業主婦）　・他の養育者：父親（土日休み）主に母親が面倒を見ている。母親は熱心で、子どもの障がいを受け入れよううと一生懸命関わっているが、子どもに振り回され鬱気味。父親も子どものことを気にかけてはいるが、仕事が忙しく、なかなか子育てに参加できていない。（休みの日は自分の趣味のバイクいじりをして過ごすことが多い）兄弟げんかも多く、最後はお兄ちゃんを叱りつけてしまう。 |
| **《ＡＤＬの状況》**身辺自立は声かけと、少しの介助が必要。日常生活に必要な簡単な言葉のやり取りはできている。しかし、気になるものが周りにあったり、興奮している状況では、言葉のやり取りは難しい。夜泣きもひどい。（特にお兄ちゃんとけんかした日はひどい）また、弟が泣くとイライラし始め、時に弟を叩きに行こうとする。一人で遊ぶこと（絵本を見る）を好み、周りに子どもたちが寄ってくる逃げ出す。行動を抑制されると、かんしゃくをおこす。あまりにもきつい時はしくしくと泣き出す。ひどい時は１時間ぐらい泣いていることもある。食事はこだわりがあり、白米を好んで食べる。野菜などのおかずを食べるように促すと、かんしゃくをおこす。 |
| **《相談内容》*** 4月から幼稚園生になって集団生活ができるようになるのか不安
* 子どもにどうかかわったら良いのかわからない。育てていく自信がない。
* 父親にも理解してもらいたいが、どう話をしていけばいいのかわからない
* 下の子にも手がかかり、本児の療育など受けられる場所にも通ってみたい。

・　兄弟仲良く遊んでほしい |
| **《今後の地域連携図》**相談支援専門員と信頼関係を深め、地域の関係機関に丁寧に繋いでいく。相談員児童発達支援本人家族障がい福祉課フファミサポ保育園（弟預かり）保健師保育園幼稚園 | **《今後の対応》*** 本児の利用できる福祉サービスの説明をし、サービス利用につなげていく
* 児童発達支援（母子通所）の事業所の利用につなげ、両親が本児の特性を理解し、対応ができるように支援する（父親の育児参加を促す）
* 同じ悩みを持つ親と交流できるようにする
* 本児の療育に通う時には、弟を預けられるようにする
 |